

3月19日(3月議会最終日) 本会議

改悪された市議会会議規則

秘密投票で女性助役 3度めの否決

反対理由もなく、議員の態度も市民にわからぬまま、闇に葬られた「女性助役」

議長会派と公明党が暗闇議会を推し進めています

19日の広島市議会で、女性助役の選任同意案が、反対討論もなく、議員の態度も市民から見えない無記名投票で否決されました。昨年の3月・6月議会に続く3度めの否決となりました。

「無記名投票」で「無記名投票」を選ぶ暴挙

昨年2度の否決では、記名か無記名かの投票方法をめぐり議会が紛糾。最終的には平野博昭議長の職権により無記名投票で採決し否決されたため、市民から批判の声が相次ぎました。

今回も昨年同様、投票方法をめぐり、日本共産党・社民党・一部の自民系会派が共同提出した「記名投票を求める要求」と、議長会派や公明党が共同提出した「無記名投票を求める要求」が衝突。どちらの投票方法とするかについて、3月4日に改悪されたばかりの市議会会議規則にもとづいて無記名投票がおこなわれ、「無記名投票を求める要求」が賛成多数で可決。その結果、女性助役の選任同意案は無記名投票で採決され、賛成少数で否決されました。

「無記名投票すること」を「無記名投票で選ぶ」という暴挙が現実のものとなりました。

市民・有権者に対する「二重の裏切り行為」

議員が自らの態度を市民に示さないことは、市民、特に自分を選んだ有権者に対する裏切り行為です。さらに、反対理由もあきらかにしないまま女性助役を否決したことは、女性助役の登用を公約に掲げた秋葉市長を選んだ「市民の願い」を踏みにする二重の裏切り行為であり、断じて許せません。

反対 賛成 35:24

裏面をご覧ください

3月4日に議長会派と公明党によって改悪された広島市議会会議規則

改悪された規則	従来の規則
同時に記名投票と無記名投票の要求があるときは、議長は、いずれの方法によるかを無記名投票で決める。	同時に記名投票と無記名投票の要求があるときは、議長は、会議にはかつて(起立方式のこと)、その方法を決めなければならぬ。

無記名投票であっても

日本共産党市議団は

「女性助役に賛成」の態度をあきらかにしました

日本共産党市議団を代表して石川武彦議員が、女性助役の選任同意案に対する賛成討論(裏面参照)をしました。また、投票にあたっては、市議団の5人全員が「私は賛成です」と意思表示しながら賛成票を投じました。



▲「賛成！」と意思表示しながら賛成票を投じる皆川けいし議員

3月4日 本会議

秘密投票制度の導入(市議会会議規則の改悪)

※平野博昭氏(新政クラブ・西区選出)は秘密投票賛成派ですが、議長のため採決に加わっていません。

選出区	秘密投票に賛成 35 人	秘密投票に反対 24 人
中区	浅尾幸正(新政クラブ) 宮本健司(新政クラブ) 水野なつ子(公明党) 木山徳和(一人会派) 永田雅紀(ひろしまフロンティア21)	皆川けいし(日本共産党) 鉦谷君子(社民党)
東区	橋本昭彦(新政クラブ) 碓井法明(新政クラブ) 平木典道(公明党) 佐々木壽吉(ひろしまフロンティア21)	村上あつ子(日本共産党) 下向井敏(新自民クラブ) 沖洋司(連合同志会)
南区	兼榊栄二(新政クラブ) 鶴見和夫(公明党) 酒入忠昭 (連合同志会) 大原邦夫(一人会派) 中本弘(一人会派)	中原ひろみ(日本共産党) 元田賢治(自民党・市政改革クラブ) 松坂知恒(連合同志会)
西区	戸田満(公明党) 柳坪進(自由民主党) 月村俊雄(自由民主党) 山田春男(ひろしまフロンティア21)	中森辰一(日本共産党) 大野芳博(新自民クラブ) 前本一美(自民党・市政改革クラブ) 村上通明(自民党・市政改革クラブ) 太田憲二(社民党)
安佐南区	種清和夫(新政クラブ) 谷口修(新政クラブ) 福島和宏(公明党) 谷川正徳(公明党) 多田敏治(連合同志会)	石川武彦(日本共産党) 海徳貢(新自民クラブ) 伊藤稲造(新自民クラブ) 土井哲男(自民党・市政改革クラブ) 田尾健一(社民党)
安佐北区	倉本忠宏(新政クラブ) 木島丘(新政クラブ) 増井克志(新政クラブ) 中山忠幸(公明党)	今田良治(新自民クラブ) 宗像俊昭(新自民クラブ) 都志見信夫(社民党) 若林新三(社民党)
安芸区	金子和彦(新政クラブ) 松浦弘典(自由民主党) 熊本憲三(ひろしまフロンティア21)	沖宗正明(新自民クラブ)
佐伯区	井口聡(新政クラブ) 松平幹男(公明党) 児玉光禎(自由民主党) 母谷龍典(自由民主党) 仲津幸男(連合同志会)	藤田博之(自民党・市政改革クラブ)

(敬称略)

3月19日 本会議(最終日)

秘密投票(無記名投票)による女性助役の否決

投票方法

無記名に賛成 **35**人 : **24**人 無記名に反対

投票結果

女性助役に反対 **35**人 : **24**人 女性助役に賛成

秘密投票で態度を隠しても「秋葉市長いじめ」の正体はあきらかです

市政の重要課題を解決していくうえで

「女性の声を市政に反映させる」先頭に立つ女性助役の役割は大きい

— 日本共産党広島市議団を代表して石川武彦議員の「女性助役」賛成討論

市長は所信表明で、「女性の声を反映した、きめ細かい総合的な行政運営を推進していくため、女性助役の登用を図る」と述べておられます。日本共産党は、この趣旨には大いに賛成です。

女性の社会参加は歴史の必然ですが、それを促進し、21世紀の早い時期に達成することは、国政、地方政治を通じて最大の課題のひとつであり、とりわけ平和都市広島市の重要な政策課題です。

そのために市がなすべきことは、例えば、乳幼児医療費無料制度の拡充、子育て相談の充実、保育所の増設、小・中・高校での基礎的学力の保障のための少人数学級、不登校・問題行動の対策、女性のパート労働者への労働者保護法の適用、老人介護の抜本的改善などなど、多くの局にまたがり、しかも市政の重要課題になっていることばかりです。

その意味で、提案されている女性助役の仕事の内容が、「女性の声を反映させるため」となっていることは、大事な指摘だと思います。日本共産党は、女性助役の選任同意案に賛成し、猪爪さん(公募で選ばれた女性助役候補)が、そういう仕事に早く着手され、一つ一つ実現することを強く願います。